

Aug. 20 2008

JEKS (The Japan Electronic Keyboard Society)

News Letter

No.6

日本電子キーボード学会ニュースレター ～日本電子キーボード学会「第4回全国大会」案内号～

目 次

1. 第4回全国大会概要	2
2. 大会スケジュール	3
3. 役員選挙について	3
4. 会員の声	
『韓国の電子オルガン演奏家、オム・ジンギョン先生とお話して』	
正会員 清水のりこ (平成音楽大学)	4
『第4回久米詔子リサイタル～COMPOSITION～』を終えて	
正会員 久米詔子 (電子オルガン演奏家)	5
5. 事務局からのお知らせ	
ホームページについて	仁田 悦朗 6
日本電子キーボード学会・平成18年度決算報告書	8
日本電子キーボード学会・会員状況	8
編集後記	8

日本電子キーボード学会 事務局

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生 1-11-1 昭和音楽大学内 阿方気付

Tel : 044-953-1121 Fax : 044-953-1311

E-mail : jeks@snow.ocn.ne.jp H.P. : <http://www18.ocn.ne.jp/~jeks/>

第4回全国大会概要

主催：日本電子キーボード学会第4回全国大会組織委員

とき：2008年11月9日（日） 10時半～18時

ところ：洗足学園音楽大学（神奈川県川崎市高津区久本 2-3-1）

- ① 東急田園都市線溝の口駅下車、徒歩6分
- ② JR南武線武蔵溝の口駅下車、徒歩6分

参加費：学会員（正会員＝1,000円、学生会員＝500円）

一般（非学会員＝3,000円、学生＝1,500円）

* 懇親会費も含む

問合せ：日本電子キーボード学会事務局

第4回全国大会について

第4回大会は、3ページのスケジュールにあるように昨年と同じ流れで行われます。今年の内容を項目別にみますと、次のようにいえます。

- ① 基調講演：ピアニストとして著名な神野明氏は、ピアニストとして電子オルガンとの共演によるピアノコンチェルトを1990年から数多く演奏していることでも知られている。講演では、この経験に基づいた電子オルガンの可能性と課題に言及する。
- ② パネルディスカッション：今年度のパネルディスカッションは、電子オルガンおよびM.L.の研究部会により企画・進行される。電子オルガン部会では、会員からのアンケートをもとに、またM.L.部会では3月のワークショップを踏まえて、テーマとパネリストが選ばれます。
- ③ 研究発表：発表者は、赤津祐子、阿方 俊、大串和久、小熊達弥、小倉隆一郎、金銅英二、斉藤英美、森松慶子が予定されており、内容としては電子オルガンに関するレジストレーション、歴史、演奏と身体性、M.L.指導に関するアンケート調査、効果的活用事例、海外情報として中国の電子オルガンや一段電子キーボード、といった興味深いものとなっている。
- ④ コンサート：洗足学園音楽大学電子オルガンコースでは、今までに数多くのコンサートを開催している。今回は、電子オルガンソロとデュオ、電子キーボードアンサンブル、打楽器とのアンサンブル、協奏曲に至るいろいろな演奏形態のあり方を提示します。

今年、7月21日～25日にイタリアのボローニアで行われたイスマ（国際音楽教育学会）世界大会の要項をみると、基調講演×4、パネルディスカッション×86、ワークショップ×147、研究発表×285、コンサート×55、それにポスターセッション（自分の音楽教育に関する考えや研究成果をポスターで掲示し、興味のある人に説明をしたり、資料提供をするもの）×245となっています。しかし、このような膨大な内容の中で電子キーボードやM.L.に関するものは非常に少ないというのが実態です。楽器需要の中で電子キーボードの占める割合が大きいことからみて、本学会の行っている活動は、国際的にみて、その意義と役割は大であるといえます。

Thinking globally, acting locally の方向性の下で大会が行われることを願っています。

スケジュール

(2008年8月20日現在)

10:00	受付 (講堂ロビー)		
10:30	講 堂		
	あいさつ 万代晋也 (洗足学園音楽大学副学長) 吉田泰輔 (学会代表)		
10:45	基調講演 神野 明 (ピアニスト・日本音楽大学教授) 「電子オルガンによるピアノ協奏曲からみえてくるもの」(仮題)		
11:15	総 会		
12:00	《昼 食》		
13:00	パネルディスカッション		
	2301	2302	2303
	パネル - 1 電子オルガン関連	パネル - 2 M.L.関連	
14:30	《休 憩》		
15:00	研究発表 - ①	研究発表 - ④	研究発表 - ⑦
15:30	研究発表 - ②	研究発表 - ⑤	研究発表 - ⑧
16:00	研究発表 - ③	研究発表 - ⑥	研究発表 - ⑨
16:30	《休 憩》		
17:00	講 堂		
	《研究コンサート 洗足音楽大学》 演奏：洗足学園音楽大学電子オルガンコース 司会：佐藤昌弘 企画・構成・指導：赤塚博美、桑原哲章、三宅康弘		
18:00	ミュージズ		
	懇親会		

次期役員選挙

日本電子キーボード学会の現役員の任期は今秋で満2年になります。会則第三章「組織および運営」第11条の「本会の役員の任期は2年とし、再任は妨げないが、2期を超えることはできない」に基づいて、次のような流れで役員選挙を行います。

- ① 選挙用紙送付：9月下旬
- ② 投票締め切り：10月31日（金）郵便到着分まで
- ③ 開票日と場所：11月1日（土）、昭和音楽大学
- ④ 選挙結果承認：11月9日（日）、全国大会総会

会員便り①

『韓国の電子オルガン演奏家、オム・ジンギョン先生との再会』

清水のりこ（平成音楽大学）

7月中旬、韓国を代表する電子オルガン演奏家、オム・ジンギョン先生が来日されました。今回先生とお会いするのは、2005年の韓国での公演「Um Jin-Kyung with Friends」で共演以来のことになります。オム先生と知り合うきっかけは、阿方 俊 先生のご紹介で、2002年の日韓サッカー・ワールドカップ記念公演「日韓伝統舞踊と現代音楽の夕べ（ソウル）」と「平成音楽大学 電子オルガンコンサート（熊本）」での共演にはじまります。その後、お互いに日韓を行き来して、親交を深めさせていただいております。

オム先生は韓国の電子オルガン演奏の先駆者ですが、新しい特殊な電子楽器の演奏家というよりも楽器や音楽ジャンルを越えた「音楽家」として韓国で認知されており、その活動はソロコンサートのほか、オペラ、ミュージカル、現代音楽の初演や音楽制作、テレビ出演など幅広く活躍し、また延世大学、明知大学でも指導されています。



（コンサートで演奏中のオム先生）

以前、公演のためにソウルに滞在し、先生をはじめ様々な方と交流させていただいた時、先生が演奏家、芸術家の方から音楽家として尊敬され、頼りにされているのを目の当たりに致しました。ご自宅のスタジオには作曲家や演奏家、お弟子さんが集まり、先生を中心に作品を創り上げようとするエネルギーに満ち溢れ、時として激しく意見の衝突が起こっても、1つのステージのためであり、今思い出してもアーティストィックな素晴らしい時間でした。そして著名な演奏家や、国営放送

KBS のプロデューサー、韓国人間国宝の芸術家が先生に演奏のオファーをするのも拝見させて頂きました。

また日本製電子楽器の輸入解禁以降の電子オルガンの普及について話題が及んだ時に、楽器の受け入れ方について日本との土壌の大きな違いを改めて知らされました。受験大国である韓国では、一般家庭において教育には費用をかけても、趣味に対しては日本とは違いかけません。子供は3～7歳までは周囲に合わせてピアノ（最近では英語が多い）を習うが、8歳ぐらいには止めて大学進学を念頭に置いた教育がはじまり、親は子供の専門を決めて教育に心血を注ぐ。そして趣味の再開は、大学入学後に余裕があるか、子育てを終えた熟年世代であるということです。

もしソウル大学のような一流大学に電子オルガン科が設置されれば、プロフェッショナルを目指せる楽器として、親は争って子供に最上級モデルの電子オルガンを買って与え、技術を習得させるのであろうが現状は難しい・・・という話をお聞きしました。先生自身も電子オルガンの国内での認知を阻む様々な要因について悩み、ジレンマを感じていらっしゃいました。

今回もオム先生の「まず音楽ありき」の真摯な姿勢、音楽に対する情熱、人間の魂や本質を語る演奏論を耳にし、そして無から礎を築き支持されている姿を拝見して、先生に改めて敬意を表さずにはられませんでした。

会員便り②

『第4回久米詔子リサイタル～COMPOSITION～』を終えて

久米詔子（電子オルガン演奏）

2008年6月29日(日)佐賀県立美術館ホールにて『第4回久米詔子リサイタル』を開催しました。9年ぶりとなるリサイタルのテーマは“COMPOSITION”。今回は全13曲、私のオリジナル作品を披露致しました。

第1部はエレクトーン、ピアノ、オカリナ、パーカッションを使って、佐賀の自然をテーマとした楽曲を中心にコンサートスタイルで演奏しました。

第2部はミュージックギャラリー『音彩（オトイロ）の絵日記』。これはメルヘン画家、故藤田三歩さんが残された6枚の絵をもとに創った音楽物語です。ステージに絵を映し出ししながら、語りとエレクトーンソロ演奏でコラボレーションしました。

この日の佐賀は前日から大雨が降り続き、動員がとても心配されましたが、蓋を開けてみると会場はお客様でほぼ満席！！とても暖かな雰囲気の中で演奏することができ、本当に幸せなひと時を過ごすことができました。

佐賀県は人口約86万人。九州の中で最も文化意識の低い県だと言われています。そこで自分主催のリサイタルを企画するのは、とても勇気がいることです。そのような中で何よりも心強かったのが地元マスコミのバックアップでした。佐賀新聞、サガテレビ、FM佐賀、タウン情報誌他10社が様々な企画の中でリサイタル告知を織り交ぜながら、大々的に私の音楽活動を県民に情報発信して下さいました。これらはすべて、過去の活動でお世話になったマスコミ関係者個人からのお力添えによるものです。

佐賀県内のエレクトーン演奏家は私ただ一人。名前も「詔子（ノリコ）」と難しい字で印象に残り易いことが幸いし、一度誰かの目に留めて頂くと決して忘れられません。また、人が少ない小さな県であるがゆえに、イベントの度に何度も同じマスコミ関係者と顔を合わせる機会に恵まれます。そうして長い歳月をかけて少しずつ生まれた「人と人の繋がり」に支えられ、今日の私の



音楽活動は成り立っているのです。

地方で行う音楽活動には様々な問題も付いて回りますが、地方でしかできないこともあります。私はこれからもずっと「人情厚い佐賀の人々」と一緒に、少しずつ音楽の道を歩んでいきたいと願っています。

（写真は、テレビ収録風景）

日本電子キーボード学会（JEKS） サイトのご案内

日本電子キーボード学会（JEKS）ではホームページを立ち上げてから、2年以上を経過いたしました。

もうすでに多くの会員諸氏にご覧いただいたり、ご活用いただいたりしていることと思いますが、改めて本学会のサイトについてご紹介申し上げます。

未だご覧いただけていない方がいらっしゃいましたら、ぜひインターネットにアクセスしてご高覧いただければと存じます。以下、はじめてインターネットにアクセスする方の手続きです。

◇**サイト名:** 日本電子キーボード学会（Welcome to JEKS）

◇**アクセス方法:**

いくつか方法がございますが、代表的な操作方法を以下に記載いたします。

《その1》インターネットに接続し、インターネット・エクスプローラのアドレス入力欄に学会のホームページアドレス（<http://www18.ocn.ne.jp/~jeks/index.html>）を直接入力し、「Enter」キーを押す。（下図をご参照ください）



《その2》インターネットに接続し、Yahoo や Google などの検索サイトにアクセスする。検索サイトのキーワード入力欄に「日本電子キーボード学会」あるいは「JEKS」と入力して、「Enter」キーを押すか「検索」ボタンをクリックする。（下図をご参照ください）



⇒ 日本電子キーボード学会のホームページが探し出されて、次のページ図のように JEKS のトップページが表示されます。

◇**画面の説明:**

このサイトの画面は二つの枠で構成されています。

○右側の枠～メインの窓です。こちらの窓に記事が表示されます。

○左側の枠～メニューを表示しています。

それぞれの項目にマウスカursorを合わせると、図のようにカーソルの形が指の形に変わります。その状態で、マウスの左ボタンをクリックすると目的のページにジャンプします。



日本電子キーボード学会～JEKS～

JEKS TOP
 学会紹介
 会員・申し込み
 全国大会
 沿革
 Voice of JEKS
 関連リンク
 会員リンク
 会員情報
 お知らせ
 お問い合わせ
 掲示板

Welcome to JEKS

The Japan Electronic Keyboard Society

日本電子キーボード学会のホームページへようこそ。

-What New-

2007.11.12 幹事会レポートをアップしました。(沿革のページ)
 2008.02.23 「お知らせのページ」を新設しました。
 2008.02.23 M.L.研究部会ワークショップ開催についてPDFファイルをアップしました。[こちら](#)のページ
 2008.03.02 Newsletter No.5のPDFファイルをアップしました。
 2008.04.03 幹事会レポートをアップしました。(沿革のページ)
 2008.04.10 会員情報更新
 2008.04.14 会員リンク(正会員リンク)のページ更新
 2008.05.11 都合により、掲示板を一時閉鎖いたします
 2008.05.18 閉鎖していた掲示板を再開しました
 2008.05.22 幹事会レポートをアップしました。(沿革のページ)

-更新履歴へ-

※ 掲示板についてはこちらをご覧ください。 → 

※また、記事の中にアンダーラインの引かれた文字列や絵文字（アイコン）がいくつかありますが、これも他のページにジャンプすることのできる「リンク」の貼られた文字列であることを示したものです。これらの文字列やアイコンにカーソルを合わせて、マウスを左クリックするとリンクの貼られたページにジャンプします。（例：上図中の赤○印）

◇メニュー項目の紹介：

1. JEKS TOP 最初に表示されるトップページです。他のページをご覧いただいているときに、トップに戻りたいときにクリックしてください。
2. 学会紹介 学会の組織、規約等について掲載しています。
3. 会員・申し込み このサイトを訪れた人の中で、本学会に加入希望の方がいらっしゃれば、この項目をクリックして表示されるページから申し込み用紙をダウンロードしていただけます。
4. 全国大会 次回全国大会についての案内を掲載しています。
5. 沿革 学会のこれまでの活動等について掲載しています。全国大会の折の研究演奏や記念演奏についても試聴していただけます。
6. Voice of JEKS JEKS からのメッセージを掲載しています。
7. 関連リンク 他研究会・学会等のサイトとの相互リンクを紹介しています。
8. 会員リンク 本学会の会員の管理するサイトをリンクを貼って紹介しています。
9. 会員情報 本学会会員のコンサート案内などの活動情報を掲載しています。
10. お問い合わせ JEKS 事務局の所在地や電話番号、メールアドレスなどを掲載しています。
11. 掲示板 JEKS の掲示板。会員の情報交換にお役立てください。

日本電子キーボード学会・平成18年度決算報告

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

科 目	金 額
収入の部	
繰越金	175,186
会費収入	個人会費 355,000
	学生会費 7,500
	団体会費 120,000
	賛助会費 290,000
参加料収入	大会参加料 73,000
事業収入	講習会受講料 0
受取利息	銀行利子 198
預り金	前受会費 365,000
収入計	1,385,884
支出の部	
通信費	205,420
会議費	32,095
事務用消耗品費	3,099
印刷費	268,170
会場費	0
制作費	0
大会経費	277,233
振込手数料	10,800
その他	0
支出計	796,817
収 支	589,067

平成18年度会員状況 (会費納入実績に基づく)

	2008年度	2007年度	増 減
個人正会員	71	61	10
学生会員	3	3	0
団体会員	4	5	-1
賛助会員	5	6	-1
会員総数	83	75	8

編集後記

第4回大会案内に当たるニュースレター第6号をお届けします。大会の内容詳細はホームページの「次回全国大会」に載せていきますのでご覧ください。今回ホームページアクセスの記事を載せましたが、積極的な会員間の情報交換の場として積極的に活用していただきたいと思います。なお事務局では、学会誌やニュースレター編集のボランティアを募集しています。コンピューターでのやり取りや編集でエネルギーの割ける方はご一報ください。多くの方に参加していただければ会の発展に寄与するものと思います。(阿方)